



日耳鼻学会FAXニュース NO 165

平成22年6月21日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimuj@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0036 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

第35回臨床家フォーラム案内

～効率の良い医療経営を目指して～

実行委員長 日耳鼻学会副理事長 石山英一

本年で第35回を迎える臨床家フォーラムは東京在住の日耳鼻学会役員が担当して開催致します。

今回のフォーラムは主題を「効率の良い医療経営を目指して」と定め、これにそって企画致しました。その理由は金融危機が世界に広がり、日本でも不況が長引き、また小泉政権以来の医療費抑制政策で医療界の疲弊と崩壊がおこり、私たちの周囲でもその影響が出てきているためです。これらの事情を踏まえて、今後我々はどう対処すべきか、何を考え、何を実行すべきかなどの医療経営を見直す必要性を痛感してこのフォーラムを企画致しました。従来と内容の異なる企画となりましたが趣旨をご理解頂き、またフォーラムの重要性に賛同頂き多数の参加を心よりお待ち申し上げます。また、御家族、従業員の方々もお楽しみ頂けるようバスツアーなども予定しておりますので、お誘いあわせの上参加頂きますようよろしくお願いいたします。

日時:平成22年9月19日(日)～20日(月)

場所:コクヨホール2F第講堂(品川駅側)

スケジュール

9月19日(日)

13:00 開会式

13:15 テーマ! パネルディスカッション

「効率の良い医療経営を目指して」

会員アンケートとその分析、解析と統括講演

講師 国際医療福祉大学教授 池田俊也先生

15:00 テーマ 小事業主(院長)として考えるべき従業員対策 - 効率の良い医療経営の構築のために - 私の医院のあるべき姿 -

1. 経営法令集(当日配布)の説明

2. 会員発表10題

17:00 名誉会員功労会表彰

次期フォーラム委員長挨拶

群馬県耳鼻咽喉科医学会会長 森 喜一先生

17:30 懇親会

9月20日(月:祝日)

9:00 テーマ 効率の良い医療経営を目指して

講演 「医療経営に役立つ経営管理の必要性と実践定着のポイント」

講師 税理士(有)BEST SANGA代表 寺本和生先生

10:30 特別講演 「子どもと病気」

聖路加病院副院長 細谷亮太先生

11:35 特別講演 「花粉症の病態と治療上の問題点～

実地医家の為の治療戦略～」

総合南東北病院 アレルギー頭頸部センター所長

千葉大学名誉教授 今野昭義先生

他医療機関に入院中患者への専門的な投薬について 「厚生労働省 疑義解釈資料(その4)」

(平成22年6月4日付事務連絡)よりの概要

[1] 出来高病院入院中の患者に対して専門的な投薬を行う場合 - 投薬に関しては外来患者と同様に必要な日数を投薬することが出来る。

○院内処方の場合:入院元医療機関に対して処方の内容を情報提供する。

○院外処方の場合:処方箋の備考欄に次の項目を記載する。入院中の患者である旨 医療機関の名称 出来高入院料を算定しているか否か

[] 包括病棟に入院中の患者に対して専門的な投薬を行う時

○院内処方の場合:受診日の1日分のみの投薬し、その後は入院元医療機関に処方の内容を情報提供し、投薬の依頼をする。算定できなかった処方料については入院元医療機関との合議で決められた金額を入院元医療機関から支払って貰う。

○院外処方の場合:処方箋は出せないで入院元医療機関に対して処方の内容を情報提供し投薬の依頼をする。

[] DPC算定病棟に入院中の患者に対して専門的な投薬を行う時 - 他医療機関は全てが自費診療となるので、その費用を入院元医療機関から支払って貰えるかの確認が必要となる。

[] レセプト記載法: か の(病棟の)医療機関に入院中の場合は

入院元医療機関名 患者の算定する入院料 受診した理由 入院元医療機関の診療科 他(受診日数:日)を記載する。入院医療機関の診療報酬明細書には他医療機関において受診した診療科を記載する。

アレルギー抑制分子発見 根本的治療に道か

花粉症や喘息、アトピー性皮膚炎などのアレルギーの発症を抑える分子を突き止めたと、渋谷彰(しぶや・あきら)筑波大教授(免疫学)らが6日付の米科学誌ネイチャーイムノロジー電子版に発表した。

「この分子の活動を強める薬を開発すれば、アレルギーを抑える根本的な治療につながる」と話している。渋谷教授らは、特定のアミノ酸配列を持つ分子が肥満細胞の活性化を抑えると予測し、人間の肥満細胞の細胞膜上で、この配列を含む分子を特定した。この分子に刺激を加えると活性化し、肥満細胞から放出される化学物質は約半分に抑えられた。渋谷教授らはこの分子を「アラジン1」と名付けた。遺伝子操作でアラジン1を持たないマウスを作り、抗原とIgE抗体を投与すると、通常のマウスと比べ激しいアレルギー反応が出た。渋谷教授は「アレルギー症状の発症の仕組みは、マウスも人間も基本的に共通で、アラジン1の活動を強める薬の開発に役立てたい」と話している。[共同通信]

gsk GlaxoSmithKline 生きる喜びを、もっと
Do more, feel better, live longer

定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤

処方せん医薬品(注意-医師等の処方せんにより使用すること) 薬価基準収載

アラミスト® 点鼻液27.5µg
56噴霧用

Allermist® 27.5µg 56 metered Nasal Spray フルチカゾンフランカルボン酸
エステル点鼻液

※「効能・効果」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入) グラクソ・スミスクライン株式会社 グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせ先(資料請求先)
TEL: 0120-951-007 (9:00~18:00/土日祝日および当社休業日を除く)
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15 GSKビル | FAX: 0120-951-047 (24時間受付) 2010.5

平成22年度定時代議員会:総会ご案内

日時:平成22年6月27日(日)午後1時～5時

会場:八重洲富士屋ホテル

講演・代議員会・総会 (午後1時～4時) 3階 赤松の間

懇親パーティ (午後4時～5時) 3階けやきの間

講演(1時～)は公開です。多数の聴講をお願い致します